

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

**評価結果報告書****地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4670700535
法人名	有限会社 マエダ
事業所名	グループホームねせぶ
訪問調査日	平成19年8月2日
評価確定日	平成19年11月8日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

**項目番号について**

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

**記入方法**

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

**用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 2007年8月4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670700535
法人名	有限会社 マエダ
事業所名	グループホームねせぶ
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字根瀬部242番地1 (電話) 0997 - 55 - 6650
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市下荒田二丁目4番3号
訪問調査日	平成19年8月2日

【情報提供票より】(19年5月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年9月2日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	16人, 非常勤 2人, 常勤換算 18人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円	
敷金	有(0 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(0 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 82.2 歳	最低	66 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	奄美中央病院、かずや内科、南西整形外科、朝仁歯科
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

海辺に面した静かな地域集落の中に、溶け込むように設置されたホームで、開設当初から地域に密着した理念を掲げ、実践に取り組んでいる。地域推進会議も多彩な顔ぶれで、各面から出される意見を受け止め、できるものから運営に活かしている。家族への入居者の日常の状況報告が細やかで家族に信頼感と呼んでいる。職員は入居者本意の関わりをしており、入居者の表情も穏やかである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の指摘事項については、それぞれ取り組みがなされ改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、勤務の都合上、居合わせたスタッフで取り組み、外部評価については評価結果を職員会議で説明するに止まっている。職員全員で取り組み、評価項目の意義・内容を理解し、サービスの向上に活かすことが求められる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議が定期的実施され始めており、議題として、無断外出について、食中毒について、災害時に(地域の)要介護者の(ホームへの)受け入れについて、スタッフのストレス対策についてなどが協議され解決に向けた取り組みがなされつつある。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月「〇〇様の 月のご様子」という報告書を個別に送付し、家族の安心と信頼関係を築く努力をしている。家族会を年に2~3回開催し、多くの意見を出してもらい、その対応方法をホーム便りに掲載し、ホームの対応状況を説明している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会には入っていないが、毎月15日に老人会へ誘いを受けている。地域の人が野菜を持参したり、入居者が散歩の折、老人会長宅に立ち寄りたりしている。ホームの催しに地域からの参加もある。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームに「地域密着型サービスとしての理念」を求められる前から、「家族と地域の絆を大切にします。」と規定され、先駆性があった。		地域密着型サービスとしての理念の部分については、具体化し、実践につながる工夫が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	業務開始前に、理念の共有を図るために声を出して読み、理念の内容について、話し合っている。管理者からアドバイスすることもある。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には入っていないが、毎月15日に老人会へ誘いを受けている。地域の人が野菜を持参したり、入居者が散歩の折、老人会長宅に立ち寄りたりしている。ホームの催しに地域からの参加もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の外部評価については、改善されている。自己評価については、勤務の都合上居合わせたスタッフで取り組み、外部評価については職員会議で説明を行った。	○	職員全員で取り組み、評価項目の意義・内容を理解し、サービスの向上に生かすことが求められる。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	「高齢者の交通事故対策として、散歩時に夜光塗料のついたリストバンドを着けたら」といった提案された事項を実施するなど運営推進会議を生かした取り組みが始まっている。		推進会議への参加が定着する工夫が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の担当者と介護サービスについて連絡を取り合ったり、困難事例の解決など相談している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「〇〇様の 月のご様子」という報告書を個別に送付している。あわせて、出納帳・領収書の複写物も送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年に2～3回開催し、多くの意見を出してもらい、その対応方法をホーム便りに掲載し、家族への手紙と一緒に届けている。また、重要事項説明書に相談担当者、関係機関を表示し、相談箱も設け、活用を呼びかけている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年間に1名の職員の異動があったが、引継ぎをしながら馴染みの関係作りに配慮した。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	大島地区グループホーム連絡協議会主催の研修への参加や、ケアマネジャーの資格試験への支援など、職員の育成に努めている。研修受講者による内部研修も実施されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大島地区にグループホーム間の交流の中で管理者・職員間のネットワークが構築されつつある。また、今年からグループホーム間での職員交換研修も計画され、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に馴染みの関係を作るために、見学や体験的参加、相談を受けホームの雰囲気に慣れてもらい、不安が無いような取り組みをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者個々の経歴や生活歴など家族や本人から聞き、力を生かすケアに取り組んでいる。島独特のつわぶきの料理・ピーマンとささみの炒め料理、島の伝承や口伝えの唄などを、教えてもらったりして共に支えあっている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人から日常生活の中で意向や希望を聞き、また、家族からの要望などを汲み取り支援している。困難な場合は入居者の表情や動きから思いを汲み取るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の意見やスタッフの意見などを集約し、ケア会議にかけて、本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日常生活行為の低下時や、症状悪化時・帰宅願望が強まった時など状況に応じた介護計画の見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携、24時間健康管理・医療活用の強化、特別な外出支援など多機能性を活かして、入居者の状況に応じた支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	原則として、かかりつけ医は入居前の医師に診てもらい、家族や本人の安心と納得のいく支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携の申請時に「グループホームねせぶ 重度化した場合(看取り介護)における指針」を策定し、スタッフにも周知している。入居時や必要に応じ、家族などにも説明している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄介助・入浴介助等介助の個々の場面で入居者の誇りやプライバシーに配慮した支援をしている。職員は入職時に個人情報保護の誓約書を交わし、ホームとしても入居者との契約書に事業者の秘密保持を規定している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・食事・入浴・買い物・理美容院利用など入居者の意向をふまえ、支援するようにしている。職員は無理な押し付けをしないように、自分でできることは自分できるように、その人らしく生活できるように介護している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員や入居者仲間と一緒に作ったトマト・オクラ・キュウリなどの野菜を利用したりして、入居者の好みの献立で食事をつくり、一緒に食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的には決まっているが、入居者の希望にあわせていつでも入浴できるようにしている。入浴に対する恐怖心や羞恥心、負担感への配慮をして入浴を楽しむように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の下準備や後始末、縫い物、雑巾づくり、イベントごとでのプレゼント役や挨拶の担当など、日々の生活や活動の中で役割や楽しみごとができるように支援している。また、趣味のパズルや将棋も楽しめるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブに出かけたり、墓参りや実家への訪問など支援している。利用者によっては、自分で近所の店まで買い物に行ったり、ホームの近くの親戚の家まで散歩に行くなど力量に応じた行動を、見守り支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解し、日中は鍵をかけないようにしている。開錠時は見守りのほかにセンサーでも安全確保を図っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力も得て防火・避難訓練をしている。非常用食糧の確保や防災連絡網もセットされている。避難訓練は昼間想定のみとなっている。		地域住民の協力のもと、夜間を想定した消火・避難訓練が求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスにも配慮しながら、本人の状態に応じた食事になるように、医療等を受けている人には、栄養士の助言も受けて、栄養・水分の摂取量にも配慮した支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	オープンで出入りしやすい玄関口に続きホールになっている。ホールにはテーブルと椅子が用意され、畳敷きにソファが配置され、それぞれくつろぎがとり易いように工夫されている。天窓から調節された光が差し込み、通風も良く空気のもどきも無い。季節の飾り物などが置かれ居心地良く過ごせる空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	位牌や使い慣れたベッド、孫の写真、CDラジカセなど入居者の好みの物が持ち込まれて、入居者が居心地よく過ごせるように工夫している。		